

アソカ講話089

テーマ「なぜ、不機嫌なままいられるか」

「不機嫌は環境破壊」という講演後、なぜ、あの人は不機嫌なままいられるのか考えていると、その理由に気づいた。不機嫌なままいられる人の特徴は、自分が傷つくことにはひどく敏感、同時に他者を傷つけることにはひどく鈍感、だから不機嫌なままいられるのだと。自分がこんなに言われ傷ついたから、不機嫌は当然・・・そこには自分が人を傷つけるような態度や言葉を言ったことなど微塵も忘れ、自分が言われたことのみ拡大解釈して不機嫌を正当化している姿がある。他者の気持ちには鈍感なのに、自分の気持ちだけには敏感、不機嫌な人が自己中と言われるゆえんである。

不機嫌でいること自体が、他者を傷つけていると気づいていない。相手への思いやりがあれば、不機嫌なままいることの罪に気づくはずだ。自分が相手と目を合わさず無視しているような態度は、相手も傷つけるが、実は一番自分の心を、魂を汚している。不機嫌でいることを正当化するのはもうやめよう。不機嫌でい続けると不幸を拡大再生産していることに気づこう。自分の不機嫌な態度は、必ず最後は自分に帰り、自分を一番不幸にすることに気づこう。

自分のしたことは必ず自分に帰る。先人の戒めの言葉である。